



卓 話

畑わさび栽培について

株式会社タムラ食品 専務取締役
田村 儀朗様

弊社タムラ食品は、大正14年創業でわさび漬を中心にわさび関連の商品を製造しているメーカーでございます。関連企業としまして、障がい者の就労施設(A型事業所)を運営しております。工場内には正社員・パートと共に、20名の障がい者が働いており一般就労に向けた訓練をしております。

現状、わさびの原料は伊豆の農家20件、伊豆以外の県内農家10件、県外5件と契約し、年間約100トンの原料を仕入れております。しかしながら、高齢化・後継者不足により年々仕入れ量が減少しております。

そこで今回は、わさびに関連する情報を踏まえながら、栽培についての話を中心に、少しでもわさびに対する理解を深めていただき、原料の普及につながる機会になればと思っております。

まず、わさび漬に使用する原料ですが、主に茎の部分を使用します。わさびの苗を沢に植えると沢わさびとなり(根茎の部分が成長)、畑に植えると畑わさびとなり(茎の部分が成長)、元の種や苗は同じものです。沢わさびは清流の中で1年半~2年ほど栽培し、畑わさびは半年ほどの栽培で商品とし、根・根茎・茎・葉の各部分は、漬物・練りわさび・ドレッシング等の加工品の原料となります。

伊豆の農家の栽培例は、年配の夫婦で、一反歩で4トン前後生産しています。多い夫婦で8トン以上生産する方もいますが、収穫時に手伝いを3~4人頼んでいます。買入れ価格を300円/kgとすると、4トンで120万円の収入となります。大根・白菜等の一般的な野菜を栽培すると、一反歩で30~50万ほどの収入と

聞いております。また無農薬・ブランド野菜も、多くても100万弱ほどのようです。栽培する過程や収穫から製品化するまでの手間の違いはそれぞれございますが、反収としましては良い方かと思われます。

苗代は10~20円/本です。また種は約1万円/合です。どちらからの栽培も可能です。なお、苗は一反で13,000~14,000本ほど必要になります。種は1合で約10,000粒あり、種からの場合、発芽率を考慮しますと3合ほどの購入を推奨しております。その他、段ボール等の資材、送料が経費としてかかります。収穫した分は全量・定額で買い取りいたします。

日本の伝統食品わさび漬を後世へ継承・消費拡大・栽培の普及を目標に、関係機関と連携し、また皆様のご支援・ご協力もいただきながら取り組んでまいります。

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ

沼津北...10/23(火)は移動例会(企業見学)

富士宮西...10/26(金)は10/29(月)

2クラブ合同例会@パテオン

新富士...11/13(火)は11/4(日)

サイエンス・プロジェクト in Fuji

2. 10/13(土)静岡第2グループ第3回会長幹事会

⇒山口君・G補佐事務局・細澤君・大村君出席予定

3. 米山梅吉記念館賛助会費(47名×3,000円=

141,000円)送金 ⇒すべての会員にご協力いただき、ありがとうございました

スマイル・ボックス

細澤君...田村様、本日はお忙しいところお越しいただきありがとうございます。これからもよろしく願いたします。

杉山君...ロータリーバッジを忘れました。

2018年5月度

出席一覧表

出席委員会

氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		出席計算に用いた 会員延数 135名 例会出席% 80.74 地区報告% 92.59 ※出席回数・当C欄の 枠入数字はホームクラブ 100%を示す。		
	当C	他C		当C	他C		当C	他C		当C	他C			
東	③	0	高地	③	0	野口	2	1	杉山	③	0	渡邊(洋)	1	2
道前	0	2	楠木	2	0	小川	2	1	勝呂	③	0	渡邊(芳)	③	1
原田	2	1	峯村	③	0	大熊	2	1	寺田	③	0	山口	③	1
服部	③	0	峯尾	2	1	奥村	③	0	辻	③	0	山本	③	0
細澤	③	0	三好	2	1	大村	2	1	塚本	1	1	吉野	③	1
石川(秀)	2	0	望月	③	0	大友	2	1	上田	③	0			
石川(三)	2	0	森藤	1	2	向坂	③	1	渡邊(好)	③	0			
石渡	③	1	村上	③	0	清	2	1	渡邊(雅)	③	1			
實石	1	2	長橋	1	0	積	③	1	渡邊(真)	③	0			
木村	1	0	野際	③	1	白壁	③	1	渡邊(秀)	2	0			

●は出席免除者

ロータリーの標語 **超我の奉仕**

Service Above Self